

担当：札幌市消費者センター調査指導係
TEL 728-2111 FAX 728-2112

平成 22 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の物価の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

なお、「年末年始主要食料品小売価格調査結果」については、12月27日(月)に公表予定です。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- | | |
|-----------------|------------------------|
| (1) カネシメ高橋水産(株) | (5) ホクレン農業協同組合連合会 |
| (2) 札幌食肉卸業協会 | (6) (社)北海道エルピーガス協会石狩支部 |
| (3) 札幌地方石油業協同組合 | (7) 北海道製麺協同組合 |
| (4) 日糧製パン(株) | (8) 丸果札幌青果(株) |

2 調査時期

平成 22 年 12 月上旬 (平成 22 年 12 月 7 日、上記団体と懇談会を実施)

3 概要

(1) 青果物

調査品目の 18 品目中、安値・やや安値は 1 品目、前年並みは 7 品目、高値・やや高値は 10 品目であった。昨年が極端に安値であったため、全般的に高値傾向であるが、平年値では平均価格に近い数値である。

(2) 水産物

調査品目の 14 品目中、安値・やや安値は 1 品目、前年並みは 8 品目、高値・やや高値は 5 品目であった。総じて前年並みであるが、秋さけは、水揚げが前年比 20%の減産になったことからやや高値、また、まぐろは、世界的な漁獲制限により輸入量が大幅に減少していることから高値となる見込み。

(3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、安値・やや安値はなし、前年並みは 2 品目、高値・やや高値は 5 品目であった。高額な商品は売れない環境にあり、国産牛肉は前年並み。その他の畜産物は、口蹄疫や夏場の猛暑及び鳥インフルエンザ等の発症により、やや高値の見込み。

(4) その他食料品

黒豆、パンは安値・やや安値だが、輸入そば粉を使用した生そばや北海道産小麦粉を使用したラーメンなどは高値・やや高値となる見込み。

(5) 石油製品

灯油、軽油、レギュラーガソリンはやや高値、プロパンガスは前年並みとなる見込み。また、在庫量は充分にあり供給不足の懸念はない。

平成 22 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
青果物	きゅうり	生しいたけ、ごぼう、 みつば、たけのこ(缶詰)、 ほうれん草、ばれいしょ、 レタス	みかん、にんじん、 れんこん、里いも、 だいこん、きゃべつ、 はくさい、たまねぎ、 長ねぎ、さつまいも
水産物	いくら	味付数の子、飯寿司、 赤えび、はまち、たこ、 こんぶ、板かまぼこ スモークサーモン	新巻さけ、まぐろ、いか、 ほたて、たらばがに
畜産物		国産牛肉、ロースハム	輸入牛肉、国産豚肉、 輸入豚肉、国産鶏肉、 輸入鶏肉
その他 食料品	黒豆、パン	もち米、鶏卵、 生そば(道産) そば粉(道産) ラーメン(輸入)	小麦粉、生そば(輸入)、 そば粉(輸入) ラーメン(道産)
石 油 製 品		プロパンガス	灯油、軽油、 レギュラーガソリン

価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比 ± 5% 未満
 やや安値・やや高値 = 前年同期比 ± 5 ~ 15% 未満
 安値・高値 = 前年同期比 ± 15% 以上

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青 果 物	みかん	高値	作況は各産地とも大玉傾向となるも着果量少なく、入荷量は前年に比べ品薄が見込まれ、価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	生しいたけ	前年並み	作況は各産地とも夏期高温の影響により一部生育不足が見られるものの、増反傾向から生産量、価格とも前年並みが見込まれる。
	にんじん	やや高値	作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により生育に10日程度の遅れが見られ全般に小ぶり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	ごぼう	前年並み	作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により10日程度の生育遅れと肥大不足が見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	れんこん	やや高値	作況は生育期の高温の影響が多少あり、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	里いも	高値	作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により生育に遅れが見られ小玉傾向となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	みつば	前年並み	作付は一部を除き減反傾向。作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により生育に遅れが見られ、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	だいこん	やや高値	作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の干ばつの影響により生育に遅れが見られたが、その後の降雨により生育回復し、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は平年並みだが、昨年は安価の為、前年比較は高い。
	たけのこ (缶詰)	前年並み	中国産孟宗筍は生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量、価格とも前年並みが見込まれる。

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青 果 物	きゃべつ	(北海道産) 高値 (本州産) 高値	北海道産は生育期の天候に恵まれ順調で、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。 本州産は生育期の干ばつの影響により生育に遅れが見られたが、その後の降雨により生育回復したが、やや小玉傾向の為、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	はくさい	やや高値	作付は前年並み。作況は各産地とも定植期の天候不順の影響により生育の遅れと小玉傾向が見られたが、その後の天候に恵まれ生育回復し、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	ほうれん草	前年並み	作付は各産地とも前年に比べやや減反傾向。作況は各産地とも天候に恵まれ生育順調で、入荷量、価格ともに前年並みが見込まれる。
	ばれいしょ		作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により小玉傾向となり、空洞化も見られ、入荷量は前年に比べ減少が見込まれるが、価格は昨年も高値だったことから、前年並みが見込まれる。
	たまねぎ	高値	作況は各産地とも生育期の天候不順の影響により小玉傾向となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は昨年も高値だったが、今年は前年を上回る高価格。
	長ねぎ	(北海道産) やや高値 (本州産) 高値	北海道産主力「ハウス軟白葱」は生育期の天候不順の影響により生育遅れと品質低下が見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。 本州産は各産地とも生育期の天候不順の影響により生育の遅れが見られ、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
	きゅうり	やや安値	作付は前年並み。作況はハウス栽培主力で生育順調となり、安定した入荷量が見込まれ、価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	レタス	前年並み	作付は前年並み。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量、価格とも前年並みが見込まれる。
	さつまいも	やや高値	作付は前年並み。作況は生育期の干ばつの影響により生育に遅れが見られ収穫量が減少し、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

	品目	価格見通し	需給動向
水	新巻さけ	やや高値	北海道の秋さけ水揚が前年比20%の減産となり、新巻さけの生産も少なくなり、価格は10～15%程値上げとなっている。
	味付数の子	前年並み	正月商材である味付数の子は、ほぼ前年並みの価格で推移する予想。
	いくら	やや安値	北海道の秋さけの水揚は減ったが、越年在庫が多かった為、価格は前年より安値で推移中。
	飯寿司	前年並み	正月商材の飯寿司は、各メーカーの努力により、価格据え置きで推移中。
	まぐろ	高値	世界的な漁獲制限の影響から、日本への輸入量が大幅に減少し、高値での取引となっている。来年に向けても、この傾向は続くものと予想される。
	いか	やや高値	するめいか（真いか）は、生鮮、冷凍ともに水揚が減少し、やや高値で推移している。年末に向けても、この傾向は続くものと予想される。
	赤えび		赤えびの生産数量は減少傾向であるが、他のえび類（ボタンえび等）で、増加しているものもあり、価格は前年並みとなる見込みである。
産	はまち	前年並み	例年、刺身商材として人気があるが、安定供給、安定価格で推移するものと予想される。
	たこ		例年並みの水揚量もあり、正月用商材として人気があるが、価格は前年並みの見込みと予想される。
	ほたて		高値

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水 産 物	たらばがに	高値	ロシア及びアメリカからの搬入量が激減しており、高値で推移してる。特にロシアの水揚量が少なく、30%以上の高値となっている。
	こんぶ	前年並み	全国の生産数量は、やや減少傾向にあるが、年末に向けての価格は据え置きで推移する見込み。
	スモーク サーモン		ギフト及び正月用商品として定番となっている事から、価格は前年並みの見込み。
	板かまぼこ		原料となるすり身は、高くなっているがメーカーの企業努力もあり、価格は前年並みで推移する見込み。

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜産	国産牛肉	前年並み	昨年同様、消費者の生活防衛意識は変わらず、高額商品の売れ行きは悪い、安価な商品の売れ行きが目立つ。
	輸入牛肉	やや高値	主力の豪州産牛肉は、外貨高（豪ドル）の為と他国の買付けが強いことで、現地高となっている。月齢基準も緩和され、米国产牛肉の輸入拡大がない限り、安くなる環境はない。
	国産豚肉		供給面で宮崎の口蹄疫と今夏の猛暑の影響で出荷頭数減から、枝肉相場が上がる。売れ筋は安価なスリ物（ミンチ）中心。ただし、年末年始には、高額部位の動きもあり。
	輸入豚肉		米国の穀物相場高による生産減、新型インフルエンザによるメキシコ産減等、供給面の事情で日本向け価格は高い。また、円安傾向で今後も高値になる。
物産	国産鶏肉	高値	今夏の猛暑で鶏が一番ダメージを受け、羽数が極端に減少。回復には来春までかかる見込み。これからの需要を考えると全国的に不足し、高値が考えられる。
	輸入鶏肉	やや高値	鳥インフルエンザによる世界の需要は大きく変化。ブラジル中心に依存している状態であり、相場もブラジルに翻弄されている。現状、今後も高値が続くそうである。
	ロースハム	前年並み	成熟したマーケットと言える。ハム・ソーセージの中でもロースハムのシェアは高く、特に無駄にならない使い切りタイプのパッケージの商品が中心に好況を持続している。

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その の 他 食 料 品	もち米	前年並み	全国的なもち米の作付増により、全体需要は過剰基調で推移しているが、産地間の需要格差が生じている。 北海道米の玄米価格は、前年産並みで設定しており、末端製品（もち精米）も同様の傾向で推移。
	黒豆	安値	年末需要を中心にお茶、きな粉などの通年需要が定着している。 作付面積の増加により価格は前年を下回る。
	鶏卵	前年並み	国の成鶏更新緊急支援事業並びに夏場の猛暑の影響で一時卵価格は前年度よりは高値で推移した。 秋以降は生産も順調に推移しており、年末需要での若干の値上げはあるものの、前年並みで推移。
	生そば	(道内産) 前年並み (輸入もの) 高値	道内産そば粉使用麺は昨年並みから高値で推移。 輸入そば粉使用麺は、中国産が北米産より高値になっているため、高値で推移。
	そば粉	(道内産) 前年並み (輸入もの) 高値	道内産そば粉は昨年並みから高値で推移。 輸入そば粉は、中国産が北米産より高値になっているため、高値で推移。
	ラーメン	(道内産) やや高値 (輸入もの) 前年並み	道内産小麦使用麺については、天候不順による収穫減、品質低下で製品が昨年より減産となり、価格は昨年よりやや高値。 輸入小麦使用麺については、前年並み。(値上げ幅が少ないため各社が価格に転換できない状況)
	小麦粉	やや高値	輸入物はやや高値。道内産は高値となる見込み。
パン	やや安値	パンの製造に必要な原料関係(小麦、砂糖、油脂等)は高値で推移しているが、消費環境の冷え込みからデフレ傾向が続き、やや安値となる見込み。	

平成22年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	灯油	やや高値	安定供給については心配ない。原油高騰、円相場が円安に進行しているため、若干の値上げ傾向。
	レギュラーガソリン		安定供給については心配ない。原油高騰、円相場が円安に進行しているため、若干の値上げ傾向。
	軽油		安定供給については心配ない。原油高騰、円相場が円安に進行しているため、若干の値上げ傾向。
	プロパンガス	前年並み	輸入価格の上昇により値上げ傾向にあるが、前年並みで推移すると思われる。現在のところ供給量は確保されており、供給不足の懸念はない。